

令和8年度第1回府中市市民協働推進会議録（要旨）

- 開催日時 令和8年5月14日（木）午後2時から3時30分
- 開催場所 府中駅北第2庁舎3階 打合せ室
- 出席委員 青山会長、関根副会長、芝委員、柴原委員、高橋委員、竹内委員、田中委員、名島委員、野原委員、花岡委員
- 欠席委員 五十嵐委員
- 事務局 大井市民協働推進部長、福嶋協働共創推進課長、加瀬主査、大藤主査、徳吉事務職員
- 傍聴者 なし
- 議事内容
 - 1 委嘱状の伝達
 - 2 市民協働推進部長挨拶
 - 3 委員紹介
 - 4 諮問
 - 5 会議及び部会の開催予定
 - 6 審議事項
 - (1) 府中市市民協働の推進に関する実施計画（仮）について
 - (2) 府中市市民協働推進会議の部会設置について
 - 7 その他

■会議録（要旨）

○会長 第1回府中市市民協働推進会議を開会する。事務局に委員の出席状況などについて報告をお願いします。

○事務局 五十嵐委員欠席。定数11名のうち10名が出席のため、本会議は有効に成立していることを報告する。また情報公開条例に基づき、本会議は公開する。会議録の作成及び公開については、会議後要点記録により作成し、各委員に内容を確認していただく。なお、傍聴希望者はいなかった。続いて、配付資料を確認する。

（配付資料の確認）

■次第1 委嘱状の伝達

（今年度新たに委嘱する委員について委嘱状を伝達）

■次第2 市民協働推進部長挨拶

大井市民協働推進部長より挨拶

■次第3 委員紹介

各委員及び市職員から自己紹介。

■次第4 諮問

大井市民協働推進部長が諮問書を読み上げ、会長へ伝達。
福島協働共創推進課長より諮問内容について説明。

■次第5 会議及び部会の開催予定について

事務局より資料3に基づき会議及び部会の開催予定について説明し、確定した。

○会長 スケジュールは資料3のとおり確定する。

■6 審議事項(1) 府中市市民協働の推進に関する実施計画（仮）について

○会長 審議事項(1)について、事務局に説明をお願いします。

事務局より資料4-1の内容を説明。

○事務局 「6 審議事項」が、本日審議いただきたい項目である。「(1) 計画の名称について」、本計画の正式名称を事務局案として「第1次府中市市民協働推進計画」としているが、異議がないか確認したい。

「(2) 序章の位置づけについて」は、序章が全体の1割以上を占めているが、以降の文章を読むうえで必要となる情報のため、1、2ページに収めることが難しい。事務局としては第1章としたほうが自然と考えているが、意見を伺いたい。

「(3) 共創の定義について」、基本方針には記載がなく、ここで明文化したいと考えている。資料4-2の5ページに定義を記載したが、委員の認識と相違がないか確認したい。

○会長 次回以降計画の具体的な内容について議論していくが、今後議論を進めるうえで3点、(1) 計画そのものの名称と、(2) 序章の位置と、(3) 共創の概念については、これまで明確に定まっていなかったが、今回素案が提示された。「市民協働」「協働」「共創」の3つのキーワードがうまく関連しあうように定義できるとよいと思う。まず計画の名称についてはいかがか。

○委員 このあとの「共創」の話とも関わるが、これから「共創」に力を入れていくのであれば、タイトルに入れると目立つと思う。「共創」をどう説明するかとあわせて考えてもよいのではないか。

○会長 「共創」に関してある程度結論が出てからタイトルの件に戻ることにし、先に(2) 序章の件について審議する。用語の定義について記載があり、分量は減らしにくい状態だが、

この序章を第1章に格上げすることについて意見があるか。

(特になし)

○会長 反対意見がないようなので、序章を第1章とする。次に「共創」の定義については、5ページに定義の記載があるが、多くの人は6ページの図1を先に見るのではないかと思う。図1は、広い意味での社会貢献活動があって、その中に市民協働、さらにその中に共創にあたる活動がある、というイメージで作成していると思う。図2は、発展段階で捉えなおすと「ゼロから新しいものを一緒に創る」というフェーズが「共創」で、「共創」やその後の改善、再実行も含め「連携・協力するもの全て」を「市民協働」と呼ぶという整理になっているのが、事務局の素案である。これに関して意見はあるか。

○委員 「協働」と「共創」は対になる概念ではないので、タイトルに並列すると違和感があると思う。また「これまでにない新しいもの」というとハードルが上がってしまうが、「府中にとって新しいもの」「自らにとって新しいもの」と考えれば、「協働」の中にいくつも「共創」があり得るのではないか、というのが昨年度から自分の感じていたイメージである。この計画を見た市民が何かやりたいと思えるかが難しいところだと思う。

○委員 よくまとまっていると思うが、市民アンケートの結果にもあったとおり協働の認知度がまだ低いことを考えると、このタイトルから興味を持ってもらえるかはわからない。興味を持ってもらえることを前提としたら、協働を推進するための計画であることを表にガンと出した方がいいと思うので、冒頭が「市民協働とは」から始まるのはよいと思う。言葉の定義は冒頭にあるべきと思う。0章とするか1章とするかについては、市の他の計画に序章があるなら序章でいいが、そうでなければ1章とし、内容として読んでもらった方がいいと思う。図1については、図を見れば皆が理解できることが理想ではあるが、それは簡単ではないので、この図から言葉の定義をきちんと読み取ろうと思った人にとってのわかりやすさを考えてみた。そうすると、0から1へという表現はビジネスでもよくあり一見わかりやすいが、読み込もうとすると「共創」が0から1なのに、「市民協働」も0から1なのではないかと疑問が出てきてしまう。結局「共創」は「市民協働」に含まれるものだとすると、「共創」と「市民協働」は同じなのか違うのか等、読み込もうとした人が持った疑問にこたえられる説明ができれば、わかってもらいたい人にわかってもらえる資料になると思う。

○委員 「協働」が何かについては、長い説明よりもパッと目に付くような簡潔な言葉やキャッチフレーズ、「きょうちゃん」のような覚えられるものがあるといいと思う。

○委員 序章は先に書いてあった方がいいと思う。タイトルに「共創」を入れるかどうかは、図1で「協働」が「共創」を抱え込んでいるので、タイトルは「協働」だけでいいと思う。用語の定義の(7)に協働コーディネーターとあるが、「共創」を強く表に出してしまうと、

これにも「共創」を入れた方がいいのではないかといった議論が出てきてしまうと思う。

○委員 タイトルについては長く「市民協働」でやってきているので、また市民にとっても言葉が増えるとわかりにくいので「協働」だけでいいと思う。0章とするか1章とするかはわかりやすい方でよい。

○委員 「市民協働」は市民で取り組んでほしいという姿勢であって、最終的には「共創」に繋がれるといい、ということだろうと思った。この計画では「市民協働」が最終目的になると思うので、あまり「共創」にこだわらなくてもではないか。

○委員 整理されていて委員にとってはわかりやすいと思う。基本方針と同じように、用語の定義等が詳細に説明された資料を目指すのであれば、この体裁でよいと思う。詳細に説明された資料と、手に取りやすい資料というのは両立しにくいので、両方を取り入れようとするアンバランスになるのではないか。

○会長 事務局に二点確認する。序章の番号について、府中市の他の計画ではどうなっているのか。二点目に、一般に条例が上位にあり、それを具体化するのが計画だとすれば、この計画の肝になるのは第4章だと思う。そうすると、第4章は市の各課が取り組む具体的な施策なので、この計画は市民へのわかりやすさも重要ではあるが、主な読み手は市職員という理解でよいか。

○事務局 他の計画での序章の取り扱いについては確認する。計画は市民も市職員も読むものだから、基本方針が計画に取って代わるということもあり、府中市はこうした考え方に立ち、今後の施策を進めていくという意思表示の意味合いもある。計画そのものが市民に愛されるものになることは難しいかもしれないが、この計画をひとつひとつの施策に落とし込んでいく際の基本に位置付けたいので、きちんと形作りたい。

なお、「協働」と「共創」の議論については、府中市として考える「協働」「共創」を一度ここで定義したいので、まずは感覚的にどう感じるか、言葉に対するイメージを頂戴し、検討したい。

○会長 承知した。

○委員 資料としてはわかりやすいと思う。図1について、いきなり「共創」するのは難しくても、まずは一緒にやる「市民協働」があって、徐々に課題を共有して意見を発信してあっていくのということで面白いと思う。言葉について市民は深く気にしていない気もするが、説明するとなった時に定義されていないと目標もぶれてしまう。タイトルとしてはシンプルに「協働」だけでいいと思う。

○委員 タイトルは「協働」だけでいいと思う。市の部署名にも入っているので、「共創」をもう少し打ち出したいのではないかなと思った。計画の中に「共創」フェーズの支援方法も含んでくるなら入れた方がいいと思うが、混乱を招くことをする必要はないと思うし、条例にも「共創」が含まれないことを思うとこのままでもいいと思う。しかし「共創」もせっかく言葉の定義をしたので、施策か何かで言及できるとよい。

○委員 市民としてはタイトルが「協働」でも「共創」でもどちらでも問題ないと思うが、逆に「共創」と入っていれば、「共創」ってなんだろう？と興味を持つかもしれない。

○委員 「共創」は「協働」の一部と定義されているが、結局「共創」に力を入れたいのか、「協働」を広めたいのか、どちらなのか確認したい。図1を見ると「共創」がコアに位置づけられているように見えるので、「協働」の一部なのであれば円が中心からずれているほうがいいと思う。また、「きょうちゃん・どうちゃん」などでPRしている中で、「共創」も推すなど同時に色々やるとわかりにくくなってしまうと思う。

○事務局 市としては「協働」ありきで、「協働」のなかに「共創」がある。近年新しい価値の創出が重視されているため、今後の施策の展開を見据えて定義したものではあるが、「共創」だからレベルが高い、「協働」のうち「共創」だけがコアであるという意味ではない。

○会長 基本となるのは「市民協働」だが、その中に新しくやった活動があればそれを「共創」と呼ぶ、ということだと思った。計画の後半にも特に「共創」という言葉は出てこず「市民協働」という言葉が使われている。

○事務局 審議を聞いていて、第4章の施策の部分に「何か新しい取り組みをより進めていきたい」といった内容を入れた時に、そこで初めて「共創」の定義を差し込む方法もあるかなと思った。「協働」と「共創」のどちらかを推したいということではなく、「協働」はすでに世の中で進んでおり、すでに市民が取り組んでいる行動が「協働」であるということも伝えていきたい。「共創」に関しては、新たに出会った主体同士が一緒に取り組むことを「共創」と呼びたいという意味で「0から」という表現を用いたが、「0」という言葉が独り歩きしそうなため、説明は必要だと思った。

○会長 それでは、事務局は意見を踏まえ、次回までに図1、2を修正してください。定義の文章自体について意見はありますか。

○委員 「協働」により新たな府中を「共」に「創」るという意味であると思った。

○事務局 計画をどう市民に知ってもらうかに関して、計画そのものはどうしても難しくなってしまうので、これをかみ砕いた概要版等を作成するなど工夫したいと思う。

○会長 キャッチフレーズをつけるとしたら概要版に載せてもらえるとよいと思う。「共創」について他に意見はあるか。なければ、改めて（１）計画のタイトルは事務局の案でよいか。

（異議なし）

○会長 それでは、タイトルは「第１次府中市市民協働推進計画」とする。（２）序章を１章にすることに関しては市の他の計画を確認する必要があるが、先ほど異議がなかったので、１章とする。（３）「共創」の定義については、本日の意見を踏まえて図１、２を作成しなおし改めて議論する。

○委員 計画をＡＩに要約させてみて、自分の意図どおりに要約されているかを確認することで、伝わる書き方になっているか確認できると思うのでやってみてほしい。

○会長 計画の内容は次回以降の会議でも審議していくので、よろしくをお願いしたい。

■ ６ 審議事項(2) 協働事業選定・評価部会の設置および部会員の選出について

○会長 審議事項(2)について、事務局に説明をお願いする。

（資料５の内容と、審査対象となる事業の概要を説明）

○会長 まず、部会員は事前に調整したとおり資料１のとおりでよいか確認してほしい。また部内の在り方や部会長の選出について意見があればお願いしたい。

（特になし）

○会長 特になければ私から提案する。昨年度部会員を経験した方に依頼するのがよいと考えるため、市民協働・共創事業選定・評価部会長には、五十嵐委員、ファンファーレ選定・評価部会長については、野原委員を選出たいと思うがいかがか。

（異議なし）

○会長 それでは、各部会については資料１のとおり、市民協働・共創事業選定・評価部会長には、五十嵐委員、ファンファーレ選定・評価部会長については、野原委員を選出する。

■ ７ その他

○会長 本日予定された審議事項についてはすべて終了となるが、全体を通して質問等はあるか。なければ、事務局から連絡事項をお願いする。

(次回の開催予定及び部会の出席者について確認。委員報酬の支払について確認。)

○会長 本日は以上で散会する。